

授業科目	* 母性看護学概論				単位	1		
履 修	必修	関連資格	高一種免(看護) 養教一種免		ナンバリング	NU21312J		
開講年次	2	開講時期	前期	該当DP	DP1-1 DP1-2 DP2-1			
担当教員	杉浦 絹子							
授業概要	母性看護の主要な概念を中核に据え、母性看護の目的を多角的な視点で学習できるように解説する。またリプロダクティブ・ヘルス/ライツの概念を基盤として思春期から更年期の女性のライフサイクル各期における健康問題とその予防、女性の QOL 向上のための方策について理解を深められるようにする。 担当教員は助産師の臨床経験を有し、臨床での経験を踏まえ、講義を展開する。							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> 母性看護の基盤となる概念について述べるができる。 母性看護の対象の特性をふまえ、母性看護の目的について述べるができる。 母子保健の動向、母子保健に関する法律および社会背景について述べるができる。 女性のライフサイクル各期の健康問題とその看護について述べるができる。 							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	100	0	0	0	0	0	100	
知識・理解 (DP1-1)	10						10	
知識・理解 (DP1-2)	80	0					80	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)	10						10	
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)								
態度(DP4-1)								
態度(DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
リプロダクティブ・ヘルス/ライツの概念を理解し、女性の生涯にわたる健康の維持向上のために何が必要かについて考察できる。				到達目標1～4について述べるができる。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法		学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)
1	テーマ: 母性看護とは ・母性、父性、親性の相違 ・親役割獲得過程と親になる過程			講義		予習 教科書を用いて母性看護の歴史や母性看護に関わる職		60

	<ul style="list-style-type: none"> ・母性看護の対象と目的 ・母性看護にかかわる職種と役割 ・母性看護の場と特徴 		<p>種と役割、母性看護の場と特徴について予習しておく。</p> <p>復習 配布資料や参考図書で学習内容を確認する。</p>	
2	<p>テーマ:母性看護の歴史と母子保健の現状</p> <ul style="list-style-type: none"> ・母性看護の歴史 ・母子保健の動向 ・母子保健に関する法律 ・主な母子保健施策 ・母子保健施策の今後 	講義	<p>予習 教科書を用いて今日の日本の母子を取り巻く社会状況と課題について文献や新聞記事等から予習してく。</p> <p>復習 配布資料や参考図書で学習内容を確認する。</p>	60
3	<p>テーマ:母性看護における主要な理論と概念</p> <ul style="list-style-type: none"> ・母性論 ・親子の絆、愛着に関する理論 ・親子相互作用モデル ・女性中心のケア ・家族中心のケア ・リプロダクティブ・ヘルス/ライツ ・セクシュアリティ ・ジェンダー 	講義	<p>予習 教科書を用いて母性看護における主要な理論と概念について予習しておく。</p> <p>復習 配布資料や参考図書で学習内容を確認する。</p>	60
4	<p>テーマ:現代女性のライフサイクルと健康問題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女性特有の健康問題 ・性周期と現代女性のライフサイクル ・女性外来の定義とその背景 	講義	<p>予習 教科書を用いてライフサイクルにおける女性の健康と看護の必要性について予習しておく。</p> <p>復習 ライフサイクルにおける女性の健康と看護について復習しておく。</p>	60
5	<p>テーマ:女性の生涯における健康問題と看護①思春期の女性における健康問題と看護</p> <ul style="list-style-type: none"> ・思春期の女性の代表的な健康問題 ・思春期の女性への看護のポイント 	講義	<p>予習 教科書を用いて思春期の女性の健康と看護について予習しておく。</p> <p>復習 配布資料や教科書で学習内容を確認しておく。</p>	60
6	<p>テーマ:女性の生涯における健康問題と看護②成熟期の女性における健康問題と看護</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成熟期の女性の代表的な健康問題 ・成熟期の女性への看護のポイント 	講義	<p>予習 教科書を用いて成熟期の女性の健康と看護について予習しておく。</p> <p>復習 配布資料や教科書で学習内容を確認しておく。</p>	60
7	<p>テーマ:女性の生涯における健康問題と看護③更年期の女性における健康問題と看護</p> <ul style="list-style-type: none"> ・更年期の女性の代表的な健康問題 ・更年期の女性への看護のポイント 	講義	<p>予習 教科書を用いて更年期の女性の健康と看護について予習しておく。</p> <p>復習 配布資料や教科書で学習内容を確認しておく。</p>	60
8	<p>テーマ:リプロダクティブ・ヘルス/ライツに関する倫理的課題と看護</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生殖補助医療と倫理的課題 	講義	<p>予習 教科書を用いて生殖補助医療について予習しておく。</p>	60

	<ul style="list-style-type: none"> ・出生前診断と倫理的課題 ・倫理的課題に直面した際の自己決定支援 		復習 配布資料や教科書で学習内容を 確認しておく。	
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	母性である自己のからだについても理解を深め、母性看護に必要な知識を得るために積極的な取り組みの姿勢が必要です。			
テキスト	・母性看護学概論/ウィメンズヘルスと看護、渡邊浩子、板倉敦夫、松崎政代編、メヂカルフレンド社			

参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	<ul style="list-style-type: none"> ・系統看護学講座 母性看護学概論 母性看護学[1] 森恵美他著 医学書院 ・母子保健の主なる統計 厚生労働省雇用均等・児童家庭局母子保健課 ・最新版わが国の母子保健 財団法人母子衛生研究会 ・最新版国民衛生の動向 厚生労働統計協会
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	<p>日頃から身近な女性問題などマスコミの報道や記事に興味・関心を持ち、知識を深めてほしいと思います。範囲が広いいため、授業の進みが速いので全コマ出席するよう心がけてください。</p>
達成度評価に関するコメント/課題に対するフィードバックの方法	<p>試験の詳細については、授業の中で提示します。</p>